教　科	科　目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
理　科	物理基礎	2学年 普通科国際科（理系）	2単位	改訂版　物理基礎 （数研出版）	リードα物理基礎 （数研出版

到達目標	①　日常生活や社会との関連を図りながら，自然現象とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ②　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ③　日常生活の中で物理学に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の観点	A　知識・技能	B　思考・判断・表現	C　主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら，自然現象とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然現象とその変化から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	自然の事物とその変化に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

学習の評価	①定期考査において、A 知識・技能、B 思考・判断・表現を主に評価する。 ②論述やレポートの作成、小テスト等で A 知識・技能、B 思考・判断・表現を、論述やレポートの作成、課題への取り組み方等で C 主体的に学習に取り組む態度を主に評価する。 ①②の評価および出席状況を加味し、総合的に評価する。

単　元	学習内容	到　達　目　標
第1編　運動とエネルギー		・身のまわりの物体の運動と様々なエネルギーについて、理解できる。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。
	第1章　運動の表し方 第2章　運動の法則 第3章　仕事と力学的エネルギー	・物体の運動のようすについて考えることができる。 ・等速直線運動、等加速度直線運動について計算で求めることができる。 ・身のまわりの「力」について考えることができる。 ・物体にはたらく力と運動の様子について考えることができる。 ・日常生活の中で使用するエネルギーに着目し、考えることができる。 ・力学的エネルギー保存の法則について理解することができる。
第2編　熱	第1章　熱とエネルギー	・原子・分子の熱運動と物質の三態について関連付けて理解することができる。 ・内部エネルギーと仕事について理解することができる。
第3編　波	第1章　波の性質 第2章　音	・自然の現象の波について考えることができる。 ・波の速さ、波長、周期、振動数の関係について理解することができる。
第4編　電気	第1章　物質と電気 第2章　磁場と交流	・身近な電気製品からジュール熱と電力量について考えることができる。 ・電流の大きさの表し方と、電流の向きと電子の移動の向きの関係について理解することができる。
第5編　物理学と社会	第１章　エネルギーの利用 第2章　物理学が拓世界	・エネルギー保存の法則について理解することができる。 ・電気エネルギー、光エネルギー、原子力エネルギー等様々なエネルギーについて相互に変換され使用されていることについて考えることができる。 ・物理学と関わる人々、職業について知り、これからの自分や未来について考えることができる。